

# 阿弥陀川の河川敷整備を早く

町長

県に要望している



杉谷洋一 議員

**問** 近年は、想定外の集中豪雨により、全国各地で大きな被害が発生している。

本町の大名橋付近でも、河川敷の雑草や雑木が増え続け、流水が川をせき止めて氾濫するなど、大きな被害が予想される。

しかし、現在は荒れ放題になり、子どもの自然観察や町民の憩いの場としての川との触れ合いができなくなっている。

**答** 森田町長 ①集中豪雨は、県内でも平成19年9月に琴浦町と本町の一部地域で発生した。被災を受けたこともあり、防災強化の重要性を再認識している。

阿弥陀川河川敷地内に繁茂している雑木・雑草は、毎年、河川管理者である鳥取県へ要望し、大名橋から下流方向の河川に隣接する集落から、順次行っている。

②憩いの場としての整備は、地域と町が一体となり、知恵を絞り構想を練ることから始める。

その上で河川管理者である県へ要望していきたい。



阿弥陀川に繁茂する雑木

**問**

全国学力・学習状況調査で何が得られ、学力結果と生活状況には相関関係があるという過去の分析結果を、本町の教育に反映されたのか。

**答** 伊澤教育委員長

学力向上検討委員会を設け、学力調査結果と生活状況等の調査結果を分析した。

その結果をもとに、保護者や地域の人と連携し、生活習慣や体験を通して、学力向上に努めている。

本町の学力は、本県の結果と同様に、全国の中でも比較的高いレベルに

位置している。

また、あいさつを自主的にに行っていると肯定的に答えた小学生の学力は、国語・算数の知識や活用能力も非常に高い結果が出ている。

各学校では、「家庭学習の手引き」を作成したり、家庭学習時間調べを行ったり、授業と関連づけた課題やプリントを家庭に配布し、家庭学習の習慣化を図っている。また、親子の対話時間を増やしたり、食事を一緒に食べる機会を増やしたりするなど、家庭学習も含めて規則正しい生活ができるように取り組んでいる。

# 学力・学習状況調査で何が得られたか？

教育委員長

分析をし生かしている



あいさつができる子は学力も高い

# 仁王堂公園のよりよい整備を

町長

維持管理を徹底する

**問**

遊園地には近隣の小学校や保育園の遠足で訪れたり、休日には多くの家族連れが訪れたり、年々、利用者が増加の一途をたどっている。グラウンドゴルフ場では各種大会が開催され、愛好者がゴルフを楽しんでいる。

子どもたちが安心して遊べる親子の触れ合いの場として、更なる充実が必要な施設である。

この施設は、今後どのように維持管理し、充実させるのか。

①遊具の点検は、②子どもカラス天狗の新設は。

**答** 森田町長 ③便所や屋根付き休憩施設の増設は。

①安全確保のための修繕をし、年1回の保守点検委託や、月1回の町職員での点検を行っている。

今後も町民の憩いの場として、楽しんでもらえるよう維持管理を徹底したい。

②今後の仁王堂公園を考る中で参考にしたい。

③一時的に利用者が集中するときは不便をかけるが、現状のまましたい。



利用者が多い仁王堂公園